

## 栄子・スティーブンスから 日本のオメガファミリーの皆様へ

主の御名をほめたたえます。

恋しい日本の皆様のお顔を思い出しながら、主の来られる日を心待ちに過ごしております。

世界中が変わってしまった今、暗いトンネルの先に見える光がますます大きく輝いて見えます。20年以上、パンデミックがやって来ること、気候変動や食料不足が襲ってくることなど語ってきましたが、昨年はそれらの預言を目の当たりにした、聖書の預言が展開される年となりました。新型コロナウイルスのパンデミック、異常気象、サバクトビバッタの大群が農作物を食い荒らす被害が、アフリカ、中東、アジアに広がりました。まるで聖書の預言の中で過ごしているようです。

コロナ禍では移動制限があり、ほぼ家の中で過ごすことが多かったのですが、日々、主に感謝の祈りを捧げながら過ごしています。2017年10月に肺がんを患った夫ビルは、手術後、徐々に体力が低下し、2020年には病院通いが続いていました。コロナ禍の不自由な生活ではありますが、主人の看病をしたり、共に祈り過ごしています。

いつも顔色の悪かった主人が、最後の心臓手術を今年の5月に行いましたが、その時から徐々に顔色が良くなり始めました。日本の皆様のお祈りをひしひしと感じております。

そのような国内自粛の続く中、地域の教会の多くの人々から再び終末論セミナーを行ってほしいとの声を頂き、祈っておりました(2011年、アメリカの所属教会で12週間のセミナーを行いました)。祈りの中で、主から終末時代に備えてアメリカの教会でも終末論を教えるように導かれました。

第1回セミナーは7月11日の予定です。独立記念日が7月4日ですので、次週から始めることにいたしました。このたび、主のお許しの中、再びアメリカの教会で終末論セミナーを開催されることを大変うれしく思います。慣れない英語でのティーチングですので、どうぞ、主の油注ぎが与えられますように、お祈りくださいませ。

アメリカの教会の上に、主が来られる日を待ち望む花嫁として、信仰がさらに深められ、イエス様をさらに愛する人々が多く起こされますよう、日本の地からもアメリカの教会のために覚えてとりなし祈っていただけると幸いです。

日本のオメガファミリーの皆様へ、主の祝福がこの上なく注がれますように。そして、主の喜びと平安が、いつも皆様と共にありますように。日本への霊的祝福が幾倍にもありますように、心からの祈りをアメリカ・カンザス州トピカからお送りいたします。

在 主

*Eiko Stevens*



Omega Japan



Omega USA